

# 学校評価の在り方に関するワーキンググループ到達イメージ

資料1

- ①学校評価の現状と課題の整理
- ②実効性のある学校評価を実施するため必要な取組の検討

## 国の取組(案)

### ① 学校評価の実効性の把握

- 平成23年度間学校評価等実施状況調査において、
  - ・ 学校評価の実効性に着目した調査項目を設定。
  - ・ 設置者に対して、学校評価の実効性を高める取組を行っているか調査を実施。

### ② 学校評価の制度の在り方の検証

- 以下の観点から制度検討を実施。
  - ・ 自己評価の客観性・透明性の向上。
  - ・ 学校運営の必須ツールとして、すべての学校で実効性のある学校関係者評価を実施。

### ③ 実効性を高める取組の推進

- 学校評価の実効性を高める観点から、調査研究・実践研究事業を展開。
- 学校評価の好事例や手法等を普及。

## 学校の取組(案)

- 実効性のある学校評価の実施  
(例: 評価に伴う負担の軽減、評価結果を活かした運営改善 など)  
※校長のリーダーシップが重要

## 設置者の取組(案)

- 学校評価の条件整備  
(例: 学校間連携の促進、評価シートのフォーマット策定、好事例の普及 など)
- 学校評価の結果に基づく支援

学校運営の改善(学校が元気になる)

教育水準の向上(子どもが変わる)